

平成30年度西区運営方針における取組み内容について

経営課題 1 地域コミュニティの活性化

戦略 1-1 人と人のつながりづくりの活動支援



- ・ 防犯・防災・子育て・福祉など日常生活に密着した重要な取組みが、町会・自治会等の身近な地域の活動主体によって担われていることを周知するなど、町会・自治会等の活動への参加や加入につながるよう支援しました。
- ・ 広報チラシを作成し、転入者や子育て層に自治会・町内会活動への参加を呼びかけました。

戦略 1-2 地域活動の活性化

- ・ 中間支援組織を活用し、地域間の課題認識や情報の共有化を図るなど地域課題に対応した活動支援を行いました。
 - ・ 地域課題や活動等を各地域活動協議会間で共有できる場として、情報共有会や勉強会を開催しました。
- 今後も引き続き、住民の地域活動への参加促進や広報紙作成支援など、地域活動協議会の自律的な地域運営を支援します。

戦略 1-3 多様な活動主体とのネットワークづくり

- ・ 区の貴重な地域資源である「公園」を活用した取組みを通じて多様な活動主体のネットワークづくりを支援しました。（韮公園バラ園コンサート、絵本ピクニック、にし恋マルシェ）
- ・ 地域産業に関する魅力を区ホームページで情報発信するとともに、区内の小学生を対象に、ものづくり体験・職場見学を実施（2回）し地域産業への関心を高めました。



韮公園バラ園コンサート



にし恋マルシェ



ものづくり体験

経営課題2 安全・安心で快適なまちづくり

戦略2-1 災害に強いまちづくり

- ・地域の自主防災組織による防災訓練実施に向けて支援するとともに、防災意識や災害対応知識の習得に向け、マンションや企業等で防災出前講座（19回）を開催しました。
- ・学齢期からの防災知識や災害対応知識の向上を図るため、小学校での防災講話（5回）、中学生を対象とした防災授業（2回）を開催しました。



防災出前講座（マンション）

戦略2-2 安全で快適な居住環境づくり

- ・街頭犯罪の約7割を占める自転車盗難対策として、関係機関（西警察署等）と連携し啓発活動（56回）を実施しました。
- ・地域住民・学校・関係機関と連携し、各団体が実施する落書き消去活動（11回）を支援しました。
- ・こどもへの犯罪防止・安全確保のため、青色防犯パトロール活動・登下校時の見守り活動を地域の皆さんと連携し実施しました。
- ・自転車関連事故を減らすため、西警察署と連携し、土曜日授業を活用した小学校での交通安全教室、親子を対象とした幼稚園・保育所での交通安全出前講座や企業等での交通安全講習会を開催しました。（21回）



落書き消去活動



交通安全出前講座

戦略2-3 誰もが自分らしく生き生きと暮らせるまちづくり

- ・高齢者・障がい者等の孤立を防ぎ、地域とのつながりをつくっていくために、引き続き全14地域の見守りコーディネーターが、支援を必要とする方への訪問、福祉情報の提供や相談の支援を行いました。また、地域福祉活動の担い手である民生委員・児童委員、主任児童委員をはじめ地域団体の皆さんの協力を得て行われている要援護者の見守り活動について、サポートを行いました。
- ・地域の福祉コミュニティの形成を図り、住民の主体的な活動を推進するため、子育て層の交流の場「てをつなごう！」や、高齢者・こども・障がい者の交流の場「そよかせまつり」の開催を支援しました。



てをつなごう！

戦略 2-3 誰もが自分らしくいきいきと暮らせるまちづくり（つづき）

- 患者や家族等の在宅療養生活を支えるために、医療・介護関係者間で速やかな情報共有が行われることを目的に、区内医療関係団体（医師会・歯科医師会・薬剤師会・訪問看護事業者連絡会）と介護関係団体との連携を図るため、西区在宅医療・介護連携推進会議の開催（3回）や、医療・介護関係者の研修（12回）など、ネットワークの充実に取り組みました。
- 患者や家族等の状態の変化等に対応できるよう、情報共有シートを用いるなど、関係機関で連携を図る具体的な仕組みの構築に取り組みました。
- 健康づくり推進のため、医療関係団体や健康増進に取り組む団体等と連携し、人が多く集まる大型商業施設や地域のまちづくり活動の場等での啓発やこどもを対象とした啓発活動を行いました。
- これらの場や乳幼児健診・健康講座などで保健師や栄養士のノウハウを活かし、「生活習慣改善指導」や「がん検診」の受診勧奨を実施しました。



医療・介護連携多職種研修会



健康のつどい

経営課題3 安心して子育てや教育ができる環境づくり

戦略3-1 安心して子育てができる環境づくり

- 安心してこどもを生み、育てられるように、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない相談体制として、保育士・保健師・家庭児童相談員等に加え、心理相談員などの専門職を配置し、支援が必要なこどもを早期に発見し、相談援助を行いました。
- 教育・保育その他の子育て支援を円滑に利用できるよう子育て支援情報誌「てをつなごう！」の発行など情報提供を行いました。
- 訪問型病児保育（共済型）を引き続き実施し、子育てと就労の両立を支援しました。
- 児童虐待の早期発見につなげるため、広報紙、ホームページ等により繰り返し周知するほか、就学前機関（幼稚園、保育所、認可外等）を年2回訪問し、情報共有ができる関係づくりと啓発活動に努めました。



子育て支援情報誌
「てをつなごう！」

戦略3-2 学校教育支援

- 小中学校長との意見交換会を年16回開催するほか、保護者・地域が参画する学校協議会のモニタリングとサポートを行い、学校現場の課題や支援ニーズを把握しました。
- 区教育行政に関して、立案段階からその実績及び成果の評価に関し、保護者・地域住民等の意見を聞き、適宜これに反映させる「西区教育会議」を2回開催するとともに、西区教育会議教育環境課題検討部会（ラウンドテーブル）を7回開催しました。
- グローバル社会において活躍・貢献できる人材育成のため、ネイティブスピーカー等による英語講座を実施しました。（小学校28コマ、中学校12コマ）
- 区内中学生を対象に、学習塾等の民間事業者を活用した課外授業を行うことで、基礎学力の向上を図りました。
- 小中学生の体力・運動能力向上とスキルアップのため、学校の体育科（水泳）へ専門家を派遣して実践的な授業を行うとともに、教員を対象とした実技指導研修の開催により指導力の向上を図るなど、体育の授業内容の改善・充実を図りました。
- 発達障がいなど支援を要する児童生徒に対し「発達障がい等サポーター」を配置し、学校生活における必要な支援を行いました。
- 社会福祉等の専門的知識や技術を有するスクールソーシャルワーカー（SSW）を配置し、いじめ、不登校、発達障がいなどの問題を抱える児童生徒の課題解決に取り組みました。また、スクールカウンセラー（SC）を配置し、こどもや保護者・教職員の相談体制の充実に努めました。（相談件数：SSW：734件、SC：176件）



体育授業への講師派遣

経営課題4 区長の権限・責任の拡充と区民参画のさらなる推進

戦略4-1 区民の声が反映される仕組みづくり

- ・西区区政会議でいただいた意見を次年度の運営方針や予算、当年度の施策等に活かすとともに、意見に対する区の考えや運営方針への反映状況を、広く区民の皆さんに知っていただくため、ホームページ等へ掲載しました。
- ・区政会議委員の皆さまに区の施策等について理解を深めていただくために西区が抱える課題について専門家をお招きし、勉強会を実施しました。また、委員の皆さんより頂いたご意見に対して区の考え方を必ず書面でお示しする等会議運営において工夫に努めました。
- ・マンションコミュニティにかかるニーズ調査や、区民モニターアンケート（2回実施）、「区長ぶらっと訪問」（2回実施）を行い、多様な意見やニーズの把握に努め、区民の意見やニーズの見える化を図りました。



西区区政会議



区長ぶらっと訪問

戦略4-2 さらなる区民サービスの向上

- ・民間研修機関を活用した能力向上のための研修を実施し、職員の意識向上と改革を推進する職員づくりに取り組みました。
- ・職場活性化プロジェクトチームを中心に「5S活動」（整理・整頓、清掃、清潔、習慣化）を率先垂範し定着化を図ることにより働きやすい職場環境を進めるとともに、各課の業務等について課題を抽出し、改善活動に取り組みました。
- ・区の特性に応じた個性あふれる区政運営の取り組みや成果、区の魅力や地域情報などについて、区広報紙のほかホームページ、フェイスブック、LINE 等様々な媒体を活用して情報発信しました。
- ・区内の店舗等に広報紙の配架をしていただける「広報サポーター」の活用に加え、マンションへの配架協力依頼を行うなど身近な場所で手に取って頂けるよう設置場所を増やすとともに、設置場所について区内の広報板に掲載する等周知に努めました。
- ・LINEにおける区広報紙や各種イベント情報のデジタル配信にあたり、LINE 友達登録の周知を図りました。



西区広報紙「かぜ」



LINE 友達登録ポスター

戦略 4-3 効率的な区行政の推進

- これまでの個人情報漏えい事故や不適切な事務処理事案を振り返り、課題を検討して再発防止に取り組みました。
- 適切な事務処理ができる組織づくりのため、コンプライアンス研修を実施し、職員のコンプライアンス意識の向上と不適正事案を未然に防ぐ「風通しのよい職場づくり」を推進しました。